

INAKEN PRESS

稲津けんご通信

編集・発行: 稲津けんご後援会 編集責任者: 稲津 憲護

〒183-0041 東京都府中市北山町2-26-15

☎(042)806-9777 Mail: inazu.kengo@gmail.com



～曲げない 負けない あきらめない～ 誰も見捨てない地域社会に 2015 年 11 月

✎ タウンミーティング 各地で盛況に開催

「稲津けんご タウンミーティング」が、10月20日(火)の北山町を皮切りに、西原町、武蔵台の順に開催されました。各日ともに天候に恵まれ、多くの方にご参集いただきました。

今回、稲津けんご氏は9月に開催された第3回定例会の報告を行うだけでなく、「最近話題になっている制度の実態は?」「市議会議員はどのような仕事をしているのか?」などを参加者の皆様に伝えていました。

全日程を終え、稲津氏は「議員当選はあくまで最初の一步。議員として何をしているのかを随時、市民の皆様にお伝えする必要があります」と、強く語りました。



◀ 今回は8つのテーマの中から、参加者の関心が高いものについて議論がなされました。稲津氏も1つずつ丁寧に解説しながら意見交換を行いました。

▶ 参加者の中には、事前に質問事項をまとめて来られた方も。稲津氏が用意していたテーマにも関連しており、参加者一同でじっくりと話し合われました。



【写真は 10 月 20 日 北山自治会館にて】

✎ ズバリ! 参加者の関心事を聞きました

今回のタウンミーティングに参加された方に、会の前後も含めて「お住まいの町で気になること」を伺いました。

【北山町の方より】

- 自動車の一方通行箇所の逆走が多すぎる
- 西原交番の方が近いのに、実際の管轄が武蔵台交番なのは何かと不便だ など

【西原町の方より】

- 東八道路の工事の進捗状況を知りたい
- 三井住友研修所グラウンドは避難場所として市に認定されるべきだ など

【武蔵台の方より】

- 武蔵台文化センター周辺の道路へのポイ捨てがひどい
- 黒鐘公園から看護学校周辺までの清掃管理を国分寺市と協力して行ってほしい など

【3 町以外の市内にお住まいの方より】

- 建替になる市役所や、そのアクセスが便利になってほしい
- 道幅の狭い道路の改善を望む など

ご参加・ご回答いただいた皆様、本当にありがとうございました。



コラム

車いすから見た世界



No.4 いつもなら出来るのに

段差につまづかないよう足を高く上げる。人や車にぶつからないように身をかわす。車いす生活に入ってから、これまで当たり前のように出来ていたことが出来なくなり、その感覚の違いに戸惑うばかりでした。

しかし、それは同時に「当たり前」と思っていた出来ていたことへの感謝にもつながりました。これまでの「当たり前」は何においても「当たり前」とは限らないことも、改めて痛感しました。

左アキレス腱を断裂したのは2015年4月のこと。翌日には腱をつなぐ手術を受け、そこから2ヶ月近く車いす生活となりました。車いすを降りた後も、しばらくの間は松葉杖やギプスで足に負担をかけないようにしました。8月に入るとギプスも外れ、自転車の運転も出来るまで回復しました。

月日が経つにつれ、足の状態は良くなりました。10月現在、ジョギング程度の走りが出るまでに回復しています。地面を一步一步踏みしめるたびに、そのように出来る感謝の念を感じずには居られません。



タウンミーティングから見た市北西部

2015年度の稲津氏は建設環境委員会に所属しています。以前から道路問題に取り組んでいたこともあり、委員会内に限らず、本会議の一般質問でも積極的に意見を出しています。

タウンミーティングを開催した3会場すべてで「道路問題」が取り上げられました。会場によって視点は様々でしたが、住民の皆様の関心の高さが浮き彫りになりました。

府中市の状況について、稲津氏は「健全財政で来ており、今年の9月に発表された市政世論調査でも『住みやすい』と言う評価が大変多いです。しかし、郊外に目を向けると、必ずしもそうだとはいえないでしょう」と話しています。

今回の会場となった北山町・西原町・武蔵台は、一部で中心地に匹敵する道路があるものの、全体的に入り組んでいたりと、道幅が狭かったりといった状況です。また、道路の修繕や周辺の景観（ゴミ問題）などに対する意見も以前から多く耳にします。

「大幅な道路整備となれば、まちづくりも含めて考えるべきでしょう。長期的な計画になることも十分考えられます。住民の皆様の意見を伺いながら、効果的な打開策を出していきたいです」と、稲津氏は語っています。



稲津けんご

【プロフィール】

1968年 北山町生まれ
(現在は西原町在住)

1999年から3期12年にわたり府中市議会議員として活動。その後、父の介護や民間での勤務を経て、2015年の選挙で再選。

一時、ケガで車いす生活を送るが、その経験も活かして「誰にでも優しい府中のまちづくり」に取り組んでいる。



スタッフのつぶやき

第3回定例会終了を受けてのタウンミーティングは、各会場ともに盛況のうちに終了いたしました。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。タウンミーティングは随時行う予定です。

そして早くも、11月16日(月)から各委員協議会が始まります。そこから同27日(金)開始の第4回定例会へと入っていきます。(Y. K.)